

IGSセミナー：キャサリン・ミルズ先生を迎えて（英語でのセミナー）

CHOICE AND CONSENT IN PRENATAL TESTING

出生前検査における選択と同意

日本でも2013年4月より、新型出生前検査（NIPS）が導入されました。その導入にあたっては、安易な中絶につながるのではないかなど、様々な議論がございました。本セミナーでは、オーストラリア・モナッシュ大学のキャサリン・ミルズ先生を迎えて、出生前検査と選択的中絶の問題について討論いたします。ミルズ先生には、オーストラリアにおける出生前検査と中絶の問題についてご報告いただき、明治学院大学の柘植あづみ先生には日本の出生前検査についてご説明いただきます。そしてお茶の水女子大学のデアウカンタラ マルセロ先生からは、この問題の法的側面についてコメントをいただく予定です。

Speaker

キャサリン・ミルズ

Catherine Mills, Ph.D.

Associate Professor, Monash University, Australia

柘植あづみ

Azumi Tsuge, Ph.D.

Professor, Meiji Gakuin University

Discussant

デアウカンタラ マルセロ

De alcantara Marcelo, Ph.D.

Associate Professor, Ochanomizu University

Coordinator

仙波由加里

Yukari Semba, Ph.D.

Project Research Fellow, IGS, Ochanomizu University

Program

- 18:15 Opening
- 18:20 Catherine Mills
"Choice and Consent in Prenatal Testing"
- 19:20 Break
- 19:30 Azumi Tsuge
"What do women want to choose in prenatal testing in Japan?"
- 19:45 De alcantara Marcelo
'Comment'
- 20:00 Q&A and Discussion
- 20:45 Closing

*セミナーは英語で行います。参加を希望される方は、お茶の水女子大学ジェンダー研究所の仙波由加里 (Semba.Yukari@ocha.ac.jp) までご連絡ください。

定員：先着 15 名

2015. **11.18** Wed. 18:15-20:45

お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科棟 408 号室